

科目名	演劇史1							年度	2025
英語科目名	History of Drama and Theatre							学期	前期
学科・学年	演劇スタッフ科 1年次	必/選	必	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	山下 悟		教員の実務経験		有	実務経験の職種		演出家	
【科目の目的】 演劇がどのように成り立ち、現代にまで導かれているかを考察し、演劇の歴史の流れを学ぶ 演劇の歴史を理解することにより、より視野を広げ、より深く演劇の業界に携わることができることを 目的とする									
【科目の概要】 1800年代からの日本の演劇史を学ぶ									
【到達目標】 日本の演劇史を学ぶことを通して、更に演劇に対する視野を広げ、将来の仕事につなげる									
【授業の注意点】									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	戦前の演劇を 理解し 代表的な 人物の説明が できる		戦前の演劇を 理解できている		戦前の演劇を 理解できない				
到達目標 B	戦後の演劇界の 変化について 理解でき 大変興味深く 感じる事ができた		戦後の演劇界の 変化について 理解できた		戦後の演劇界の 変化について 理解できないことが 多い				
到達目標 C	プロデューサー システムについて 理解し、説明できる		プロデューサー システムについて 理解している		プロデューサー システムについて 理解できていない				
到達目標 D	各代表的な劇場の 芸術監督が わかる 言うことができる		各代表的な劇場の 芸術監督の 説明を理解できた		各代表的な劇場の 芸術監督は 覚えていない				
到達目標 E	授業を通して より広く視野を 広げ知識を増やした と思う事ができた		授業を通して 演劇史に 興味を持つことが できた		授業を通して 演劇史に 興味を 持つことが できない				
【教科書】									
【参考資料】 必要に応じて随時配布する									
【成績の評価方法・評価基準】 授業態度 レポート課題									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		演劇史1			年度	2025
英語表記					学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	前期の授業について	前期の授業について	前期の授業	前期の授業の目的、何を学か知る		
			川上音二郎	川上音二郎について		
			川上音二郎・貞奴	生劇オセロ・音二郎没まで		
2	文芸協会自由劇場	文芸協会自由劇場	文芸協会	坪内逍遙・松井須磨子/ハムレット・人形の家		
			自由劇場	自由劇場 1919年までの歴史		
			芸術座	芸術座の解散まで		
3	新劇小劇場	新劇小劇場について	築地小劇場	新劇の始まり、分裂・解散まで		
			演劇運動	演劇運動の背景		
			振り返り	今までの授業の復習		
4	戦前の演劇の確立	戦前の演劇の確立	戦前リアリズム演劇	国民小劇場		
			自主解散命令	移動演劇連盟		
			戦前の演劇のまとめ	復習		
5	戦後の演劇	新劇	戦後初の公演	戦後初の公演について		
			三大新劇団	三大新劇団について、分裂		
			劇場	日生、紀伊國屋劇場について		
6	自由劇場状況劇場①	自由劇場状況劇場	唐十郎	唐十郎について		
			アングラ	アングラと新劇について		
			動画鑑賞	テント公演		
7	自由劇場状況劇場②	自由劇場状況劇場	自由劇場	自由劇場の変化		
			動画鑑賞	当時の事件について		
			まとめ	振り返り		
8	蜷川幸雄	蜷川幸雄について	蜷川幸雄	蜷川幸雄の世界を知る		
			蜷川幸雄	舞台公演について		
			まとめ	復習		
9	1970年代の演劇①	1970年代の演劇	演出家	代表的演出家を学ぶ		
			舞台公演	当時の舞台公演を学		
			まとめ	振り返り		
10	1970年代の演劇②	1970年代の演劇	演出家	代表的演出家を学ぶ		
			舞台公演	当時の舞台公演を学		
			まとめ	振り返り		
11	1970年代の演劇③	1970年代の演劇	小劇場	小劇場について		
			動画鑑賞	動画鑑賞から学ぶ		
			まとめ	振り返り		
12	日本のミュージカル	日本のミュージカル	日本のミュージカル	日本のミュージカルについて		
			動画鑑賞	動画鑑賞から学ぶ		
			まとめ	振り返り		
13	プロデューサーシステム	プロデューサーシステムについて	プロデューサーシステム	プロデューサーシステムについて学ぶ		
			プロデューサーシステム	プロデューサーシステムの始まりを学ぶ		
			まとめ	振り返り		
14	芸術監督	芸術監督について	芸術監督	各劇場の芸術監督を知る		
			芸術監督	1980年代の芸術監督を知る		
			まとめ	振り返り		
15	総まとめ	まとめ	振り返り	復習		
			質疑応答	振り返り		
			レポート	レポート課題提出		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等